

校長室の窓から

令和2年12月 8日

江戸川区立西小岩小学校 校長 則岡 小織

「言葉」について考えよう

12月10日は「世界人権デー」です。改めて「人権」について考える機会とし、子どもたちに考えさせました。「人権」と言うと難しく聞こえますが、相手を認め、尊重すること、低学年においては友達と仲良くすることから始まると考えます。朝会で金子みすゞさんの「こだまでしょうか」という詩を紹介しました。

「遊ぼう」っていうと 「遊ぼう」っていう。
「馬鹿」っていうと 「馬鹿」っていう。
「もう遊ばない」っていうと 「遊ばない」っていう。
そして、あとでさみしくなって、
「ごめんね」っていうと 「ごめんね」っていう。
こだまでしょうか、いいえ、誰でも。

言葉はもう一人の自分です。

優しい言葉がけができる子は、優しい言葉のシャワーをたくさん浴びている子です。心の中に優しい言葉が詰まっています。反対に、乱暴な言葉や人の心に突き刺さる言葉を使ってしまう子は言葉を考えなくてははいけません。

「言葉」について、ご家庭でも話題にしてください。

12月1日は、西小岩小学校のお誕生日「開校記念日」でした。84歳になりました。久しぶりに校庭に全校児童が集まって、開校記念集会を行いました。PTAから、記念のチョコレートをいただき子どもたちはとても嬉しそうでした。

西小岩小学校の校章は「桐」をデザインしたものです。学校にも桐の木があります。毎年、白い花を咲かせていることを知っているでしょうか。実は、校舎の裏にあるのでなかなか気が付きません。(3年生の廊下からよく見えます。)



メダルチョコレート

西小岩小学校の校歌は、第4代校長、野村 旻 先生が作詞されたものです。私はこの校歌が好きです。子どもたちの健やかな成長を願う思いが感じられ、ゆったりとした曲にのって季節や希望が表現されているからです。素敵な校歌を大事に歌い繋げていきたいと思います。

84年間で夢をもって西小岩小学校を卒業していった子どもたちは、13,263名です。歴史の重みを感じます。

生活科で秋探し

1・2生が生活科の学習で秋探しをしました。集めた秋を生かして1年生はおもちゃ作り、2年生はしおり作りを楽しみました。葉の色が変わること、実の大きさや形の違い、葉を踏んだ時の音などいろいろなことに気づきました。この気づきが今後の学習に大きくかかわってきます。1, 2年生の「気づき」を大切にしたいです。

【1年生 おもちゃを作って遊ぼう】



お店の看板も作ってお客さんに
アピール！



木の枝に毛糸を
付けて竿を作り、
オナモミを糸の先
につけて釣り上
げます。オナモミ
と毛糸との関係
を知っているか
らこそ作れたの
ですね。



葉や実で飾った冠をかぶって楽しそうに活動
していました。



【5年生 ソーラン節 体育】

運動会で必ず5年生がソーラン節を踊るわけではありません。体育の表現の中で子どもたちが何を表現するのか、どのような動きを作り上げるのか等を主体的に考えて活動し表現するものが体育科での表現活動です。本校でもこのねらいを基に表現の指導について考え、進めています。5年生もこの点を考えて、体育の時間でソーラン節に取り組みました。



<隊形について話し合っています>

【2年生 押し花のしおり作り】



見つけた秋とお花が素敵にコラボして自分のしおりができました。「校長先生にも作ってあげる。」と、2枚も作ってもらいました！



養護教諭の和田先生に押し花の作り方を教えていただきました。



出来上がったしおりは、読書月間中おすすめのこの1さつと一緒に掲示しました。どんどん読書が進みそうですね。



4年生に向けて発表しました。練習から見えていましたが今日が一番揃っていてかっこよかったです。



クラスごとにフォーメーションを考えて練習しました。話し合いの中で自分の意見が通らなくて悔しい思いをしたり、みんなの動きがなかなか揃わずに焦ったりしましたがここで学んだことを日頃の集団生活で、これから行われるウインタースクールで生かすことを期待しています。



セーフティー教室 ～大丈夫ですか？ 家庭での約束～

今年度は、企業や警察を呼んでの講演会ではなく、西小岩小学校の全校児童にアンケートを取って、そこから見えてきたことを中心に、学校と家庭で連携していく大切さについて考えることにしました。18名の保護者が参加してくださいました。児童の実態からということもあり、有意義な時間となりました。内容を少し紹介します。児童アンケートの結果を「環境」と「使い方」の2つの観点から考えました。



【環境】

自分専用の携帯電話やスマートフォン、タブレットを持っている児童が65%で、今や身近にある当たり前のものとなっています。機種も大人と同じことができ、4年生までに80%の児童が使い始めています。

つまり、4年生以上の子どもは、大人と同じようにアプリを使ったり、サイトを見たりすることができてしまいます。お子様のアカウント管理は大丈夫ですか？何気なく使用しているアプリにも実は年齢制限があるようです。保護者が管理することが大事です。

【使い方】

子どもたちは、1日にどのくらい使用しているのでしょうか？50%の児童は1時間30分以内ですが、1時間30分～3時間使用する児童が30%、3時間以上が14%いました。学校(7時間)・睡眠(9時間)を引いた残り8時間の多くを占めています。だからこそ、ご家庭の協力が必要になってきます。自分の知らないうちに写真を載せられた、グループLINEで嫌な思いをしたなどのトラブルも実際にありました。使用時間、場所、機能等について、お子さんと話し合っ「SNS 家庭ルール」を作って実行してください。ルールやモラルを守り、情報機器を上手に使いこなす力を家庭と協力して育てていけたらと思います。



【セーフティー教室に参加された保護者の感想から】

- ★タブレットを親子兼用で使用している。You tube をよく見ているが確かにどんな内容のものまで見ているかわからないので危険度が高いことを改めて知った。まずは、使用時間の軽減から取り組みたいと思います。お友達がスマホを持っていたりするが、私共はまだまだ持たせないようにします。
- ★子どもは親をよく見ていることを実感しました。また、SNS は便利な反面精神的にも身体的にもリスクがあることがよくわかりました。まずは、正面から子供と SNS について考えることから取り組みたいと思います。
- ★成長途中の子供にとって小さい画面を長時間見続けることやブルーライトが視力や脳の発達にとても悪影響なことを知り、どうして長時間の使用がダメなのか、ただダメと言うのではなく理由を具体的に説明し、伝えたいと思います。

◎HP にも「校長室の窓から」をアップしています。写真は HP が鮮明ですので是非ご覧ください。